九州大会・全国大会を目指す福岡県のジュニアへ

～～知っておくべきマナー＆ルール～～

全国大会や九州大会では、ルールやマナーに対して厳しい判断をされることが多くなります。
県予選大会でもルールやマナーを理解し、準備しておきましょう。

【セルフジャッジ方式】
一般的なジュニア大会では、お互いがネットを挟んだ自分のコート側の判断を行います。
お互いに自分側のジャッジは責任をもってフェアな心で行いましょう。
① ジャッジやコールは相手に伝わる声と相手に見えるハンドシグナルを使い速やかに。
　※相手側のジャッジをする必要はありません。（サービスネット、ダブルフォルト等）
② サーバーはサーブを打つ前にレシーバーに聞こえる声でスコアを伝える。
③ 「アウト」、「フォールト」はボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時。
④ 判断が難しい時は、「グッド」（相手に有利に）の判断をとります。
⑤ コートの外の人は、セルフジャッジへの口出しはしない。（観戦者、コーチ、保護者）

【大会関係者への敬意】
大会は多くの関係者の尽力により成り立っています。どの大会でも、関わる全ての人へ感謝の気持ちで接しましょう。来場時や退場時には、本部にて挨拶をするのが望ましいでしょう。

【集合・受付時間】
予め決められた時間内に受付を済ませておきます。基本、遅刻は考慮されません。
事前に日程注意事項を確認し、自分のスケジュールを把握しておきましょう。

【欠席（欠場）の連絡】
欠席の場合は、事前に主催者（テニス協会等）へメールか FAX で欠場届を提出します。
直前の場合は電話等の連絡後に提出します。
欠場届は、HP 等に書式を掲載しています。自作しても内容が伝われば構いませんが、大会によっては、書式のみしか受け付けない場合もあります。

【ロービングアンパイア】
各コートの試合がスムーズに進行しているかを見守り手助けするのが、ロービングアンパイアとなります。約 2～3 面に 1 名程度で配置されています。
選手同士で解決が出来ずに試合が中断している場合や、選手から解決のリクエストがあった場合は、ロービングアンパイアがそのお手伝いをします。
また、時には選手のジャッジに対しオーバーコール（訂正）をとることもあります。
分からないことがあれば相談しましょう。

【オーダーオブプレー／OOP】
試合進行は OOP と呼ばれる進行表を確認し、自分が入るコートと順番を把握しておきます。
ＳＡ（スタートアット）　→その時間から試合が始まります。
ＮＢ（ノットビフォア）　→その時間までは前の試合が終わっても試合は開始しません。
ＷＯ（ウォークオーバー）→棄権
ＦＢ（フォロードバイ）　→終わり次第試合に入ります。※ＮＢ無し
予定の試合開始時刻を過ぎても来ない場合、15 分が経過したら棄権となります。

【本部への結果報告】
試合後は勝者がボールと結果を速やかに本部に届け、進行に協力しましょう。
コーチや保護者への報告等は本部に結果を報告した後で行いましょう。

【ウエア（服装）のロゴ】
テニスの公式大会では、身に着けるウエアのロゴ（製造者、コマーシャル）の大きさや数に規定があります。大会前に規定内であるかを確認しておきましょう。（ルールブックに記載あり）
※男子のロングスパッツは不可（膝上までは可）

【試合前の練習／ウォーミングアップ】
各試合方法によって、サービス 4 本や 5 分間の練習（ウォーミングアップ）が設けられていますが、終了後は 1 分以内には試合を開始しましょう。
予め、すぐに試合ができる格好でウォーミングアップを行いましょう。

【スコアボード】
チェンジエンドの際は、設置しているスコアボードに途中結果を表示します。
ドロー番号が小さい選手が左側や上側となるので間違えないように気を付けましょう。
どちらの選手が変えても構いません。変える時は相手側のスコアも変えてあげましょう。
偶数ゲームに変えてもいいですが、25 秒ルールがあるのでチェンジエンドの時に変えましょう。

【フットフォルト】
サーバーは、ベースラインを踏んだり、越してサービスをするとフットフォルトとなります。
セルフジャッジの試合ではレシーバーがコールをすることが出来ないので、明らかなフットフォルトを確認すれば、注意や失点を取る場合があります。
フットフォルトを取られるとリズムが崩れる場合もあるので、普段から確認しておきましょう。

【エンドチェンジ（旧チェンジコート）と時間／90 秒】
奇数ゲーム毎に自陣と相手側のコートを入れ替えます。
エンドチェンジをする際の時間は 90 秒と定められており、ポイント終了後から次のゲームのサービスを打つまでの時間となります。その間に水分補給等や休憩が可能です。ただし、1 ゲーム終了後は椅子に座ることは出来ませんので速やかに移動します。
タイブレーク中は 6 ポイント終了ごとにエンドチェンジとなり、その際には椅子には座れません。
3 セットマッチの場合、偶数でもセットが終わる度に 120 秒の休憩が設けられています。

【ポイント間の時間／25 秒ルール】
各ポイント間には『25 秒ルール』が設けられており、サーバーはポイント終了後、25 秒以内に次のサーブを打たないといけません。また、レシーバーはサーバーのタイミングに合わせてレシーブをしなければいけません。セルフジャッジでボールパーソンがいなく、物理的に多少時間もがかかる場合もありますますが、その時はなるべく速やかに次のプレーを開始しましょう。
ポイント間の休憩や作戦も定められた時間内となり、遅延により相手を待たせすぎないようにスムーズに試合を進行していきましょう。

【試合中のトイレ／トイレットブレーク】
試合中には、急な状況に備えてトイレに行く権利が設けられています。
トイレットブレークを希望する場合は、ロービングにその旨を伝え指示をもらいます。
理にかなった時間で戻り、相手選手への遅延行為にならない様に気を付けましょう。
※回数やタイミングが決まっています。

【レット（ボールイン)】
インプレー中のコート内に他のコートからボールが入ってきた場合、妨害となるので速やかに「タイム」をかけてポイントをやり直します。お互いに気づいた時点で「レット」をかけましょう。
但し、「レット」と言う前に打たれたボールが、明らかにウィニングショット（又はエース）の場合はそのポイントは成立します。
1st サーブ後の 2nd サーブを打つ前にボールが入ってきた場合は、インプレー中ではないのでポイントのやり直しにはなりません。

【コードバイオレーション／（道徳的な行為の反則)】
試合中は、コードバイオレーションを科す場合はあります。
ラケットやボールを叩きつけたり、相手を威嚇・威圧したり不適切な発言や行動に対して科される事があります。
試合中のトラブルは紳士的に対応し、ルールやマナーを理解した上で解決していきます。
コードバイオレーションを簡単に述べると、「スポーツマンシップや道徳に準じて行動しましょう！」という規則です。

【試合中のコーチング】
現在のルールでは、選手は一旦試合が始まるとコート外からのコーチングを受けることは出来ません。
例：「足を動かせ」、「もっと攻めろ」などのアドバイスは NG です。ゼスチャーによる指示も同様となります。
いかなる場合でもコーチングとみなされる行為はルール違反となり、注意やペナルティの対象となりますので注意下さい。
※県予選や九州大会等でも実際に注意されているケースが報告されています。その意思がなくてもコーチングと判断した場合は注意の対象となりますのでご注意ください。

【応援のマナー／観戦者】
試合を観戦する場合、選手のプレーの妨げにならない様に気遣いの上、応援しましょう。
プレー中の大きな音や声などには気を配り、選手が集中しやすい環境を作ってあげましょう。
選手を妨害するような言動はマナー違反となり、注意の対象となります。

【アウトコールに関して】
相手がアウトをした場合、アウトコールを優先せずに、「カモン」等の自分への掛け声、ガッツポーズが優先となっているケースが多くなっています。
先に自分側のジャッジをする事を忘れないようにしましょう。
また、ポイント取得後の相手に向かってのガッツポーズや、叫ぶような行為も避けましょう。

【試合中の動画撮影】
試合を動画撮影する場合は、事前に相手選手の同意を得る事が望ましいでしょう。
撮影は、プレーの妨げにならない様にしましょう。（制限が厳しい大会もあります）

【SNS での投稿】
大会や試合に関する SNS 等での投稿は、不適切な発言が無いように気を付けましょう。
大きなトラブルに発展する場合もあります。

【会場での過ごし方】
試合会場では、試合をしている選手の邪魔にならない様に過ごしましょう。
会場で定められたルールやマナーを守り、通路や駐車場等での周囲の人への危険が予想されるような練習行為はやめましょう。
また、会場にゴミ箱が無い場合は必ず自身のゴミは持ち帰りましょう。
会場マナーが悪いと、大会が開催出来なくなる場合もあります。

上記以外にも様々なルールやマナーがあります。
特に小学生～中学生の低年齢には全てを熟知し実行する事はとても難しく、その場の状況によっては、教育的な指導や判断をする事もあります。
両選手がフェアにプレーするために、ルールに対して厳しい指導をするケースもありますが、これから大きな舞台で活躍していく為には必要な事だとご理解をお願いします。
理解し覚える事は多くなりますが、事前に知っておく事で試合中のストレスやトラブルの原因となることも減ると思います。
全国大会では、試合中のマナーに対しグッドマナー選手を表彰する大会もあります。
普段からルールやマナーを理解し、九州や全国等の大会でプレーする準備をしておきましょう。

2024.3
福岡県ジュニア委員会